第４学年　国語科学習指導略案

場所　３、４年生教室
指導者　教諭　ブラッシュ鳥越　智美

１　単元名　「聞いて楽しもう」
　　教材名　「ふるやのもり」光村四年（上）

２　本時の学習
（１）ねらい
・登場人物の気持ちや情景の移り変わりに注意しながら昔話しを聞く。
・読み方を工夫して、お友達に読み聞かせる。
（２）展開

時間	学習活動	主な働きかけと予想される反応	○留意点　★評価
３	１．漢字ドリルの音読	C 今日で何回読んだよ。	すらすら音読を目指す。音読１回分を○を塗りつぶす。
10	２．教科書の読み聞かせ	T 今日の目標を確認して読み聞かせを始める。	教科書 P133～P137
	登場人物の気持ちや場面の様子を思い浮かべながら話を聞きましょう		
７	３．どんな話だったか、どの場面が心に残ったか、どきどきわくわくしたか等を共有する。	T どんなお話でしたか。 T どの場面が心に残りましたか。 C おおかみが逃げるところ C さるのしっぽが切れるところ	
15	４．物語の流れを全員で確認し、自分が読み聞かせする場面を決める。	T 皆さんに読み聞かせを担当してもらう場面を決めます。まず、場面を順番に並べましょう。 T どの場面を担当するか、選びましょう。 T 聞き手がわくわくどきどきするように読みかたを工夫してください。 C この言葉を工夫して読もう。 C この言葉を特にゆっくり読もう。 C おおかみとどろぼうの状況がわかるように読もう。	物語の場面が書かれたカードをストーリーの順番に並べる。 担当する場面を読む練習をさせる。 工夫する観点を提示する 「間をとる」「スピード」「声色を変える」等、その他真剣に取り組み笑わない等
10	５．発表する。	T 読んだ後、工夫したところを説明してください。発表者に良かったところを伝えてください。	発表後、どんなところを工夫したか説明してもらう。 聞き手は感想を述べる。
	６．今日の学習のふりかえり		★登場人物の気持ちを工夫して読み聞かせすることができたか。